

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 1 月 17 日(水) ~ 平成 19 年 1 月 23 日(火))

平成 19 年 1 月 24 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する海外の動向

1 月 18 日(木)

- 韓国科学技術部、宇宙技術分野への支援内容を確定 【韓】
1 月 17 日(水)、韓国科学技術部(MOST)は、2007 年度「特定研究開発プロジェクト施行計画」として宇宙技術分野へ約 2 億 1100 万ドルの支援を確定した。主な支援事業は以下のとおり。
 - (1) 2008 年打上げ予定の低軌道衛星打上げ用ロケット「KSLV」(打上げ能力:0.1 t)の開発
 - (2) 全羅南道(コフン)の高興郡(ウェナロド)宇宙センター建設の促進
 - (3) 韓国初の宇宙飛行士のソユーズ搭乗・ISS 滞在・科学実験の遂行
 - (4) 衛星航行システム(GNSS)の多元化に向けた欧州航行測位衛星システム「ガリレオ(Galileo)」への参加
- * 同プロジェクトは技術開発促進法の下、毎年 MOST が実

施しているもので、将来研究、革新的基盤、大型構造体複合技術の開発、研究施設のインフラ整備等を支援する。今年度の事業規模は、総額約 4 億 8000 万ドルで、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、宇宙技術分野などを中心に支援する。

- 欧州宇宙機関 2007 年度の予算・計画を発表 【欧】
1 月 17 日(水)、欧州宇宙機関(ESA)は、2007 年度の予算発表、計画説明等を行った。予算総額は約 29 億 7540 万ユーロ(約 4,671 億円)、前年度比約 2.46%増。主なプログラム予算は以下の通り。

プログラム	予算額 (百万ユーロ)	比率 %	対前年 増減率%
ロケット開発	627.4	21.1	+ 18.2
地球観測	437.2	14.7	+ 5.0
有人飛行	384.4	12.9	+ 5.2
科学プログラム	386.1	13.0	+ 14.81

1 月 19 日(金)、22 日(月)

- 中国、弾道ミサイルによる衛星破壊実験を実施【中】
1 月 11 日(木)22 時 28 分(世界標準時、以下同じ)、中国は、四川省西昌付近高度約 865 km の軌道上にあった中国の老朽化した気象衛星「風雲 1 号 C(FY-1C)」(1999 年打上げ)を標的として、西昌の基地より弾道ミサイルを打上げ、衛星破壊実験に成功した。

1月20日(土)

- プログレス、国際宇宙ステーション(ISS)とのドッキングに成功
【露】

1月18日(木)11時12分(日本時間、以下同じ)、バイコヌール宇宙基地からソユーズロケットにより打ち上げられた、ISSの補給物資を搭載したプログレス補給船は、1月20日(土)11時59分、ISSとの自動ドッキングに成功した。同補給船には、2.5 tを超える燃料、酸素等の物資が搭載されていた。

1月24日(水)

- ISS計画に関する宇宙機関長会議(HOA)開催
【日、米、欧、加、露】

1月23日(火)(現地時間)、欧州宇宙機関(ESA)本部(フランス・パリ)において、ISS計画に参加している、日・米・欧・加・露の宇宙機関長が一堂に会し、HOAを開催した。会議では、ISS組立作業の進捗状況とISSの完成に向けた今後の計画等を確認し、目標達成のためには国際協力が重要である旨の共同声明を発表した。